

体育科（保健）調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○身近な生活における健康・安全について理解し、保健に関わる基本的な技能を身に付けるために、どのような工夫がされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し、判断するとともに、それらを表現するために、どのような工夫がされているか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○運動と健康との関連について具体的な考えをもてるよう、どのような工夫が見られるか。 ○中学校へつながる系統性のある指導ができるよう、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	○児童の学習意欲を喚起する資料であるか。 ○教科書の記述内容を理解する上で有効な資料であるか。 ○資料の新しさ、図表等の正確さはどうか。	
表記・表現	○児童が理解しやすい表現の工夫がされているか。 ○脚注、注釈等によって理解を助ける配慮はどうか。 ○全ての児童にとって学習しやすいようレイアウト等の適切な配慮がされているか。 ○記号、用語などの正確さはどうか。	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1>新しい保健</h1>	2 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">東 書</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、大切な部分が太字で記述され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○各項の内容を主体的・対話的で深い学びとなるように4ステップ「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」の学習パターンによってまとめ、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「調べる・解決する」の欄で事例について原因を探求・分析したり、資料を基に思考したりする活動を通して、自分の考えを深める構成になっている。 ○「深める・伝える」の欄では、学習したことを基に、自身の考えを記述し、他の人と伝え合う構成になっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各項の2ページ目の冒頭で「学習課題」が明示されている。課題を明確にすることで、課題を自分のこととして捉え、学びに向かえるように工夫されている。 ○章末の「学習をふり返ろう」では、その章の学習を終えて、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄が設けられ、更なる学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 </p> <p> <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○イラストや写真、グラフなどを参考にしながら、気付きや調べるきっかけを作ったり、まとめたりする学習ができるよう工夫されている。また、「解説」では、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容が詳しく説明されており、理解を深めるための工夫がされている。 ○児童の学びを手助けする動画やシミュレーションなど「技能」を映像で確認できるデジタルコンテンツが充実するように工夫されている。 </p> <p> <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○オリンピック・パラリンピックアスリートの紹介やスポーツの意義を示す資料を掲載するなど、運動と健康について考える工夫がされている。 ○中学校の内容を「はってん」の中の資料として掲載し、系統的に指導できる工夫がされている。 </p>	
資 料	<p> ○単元の導入に、身近な生活や自分の経験を振り返って考える活動が大きな写真とともに掲示され、児童の学習意欲を喚起する資料となっている。 ○グラフや写真、挿絵、漫画、キャラクターの吹き出し等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○各項末の資料を中心に、「熱中症」や「ASUKAモデル」、「防災」等多くの今日的な健康課題や、オリンピック・パラリンピックアスリートの言葉が取り上げられている。 ○児童が思考・判断したことを表現する記入欄や、学習をまとめる記入欄、各単元末の「学習をふり返ろう」の自己評価欄や、活用記入欄など、評価を行う手掛かりとなる場面が設定されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○各項、導入1ページ、学習内容を見開き2ページ、まとめ1ページの、合計4ページで構成し、「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」の4ステップという流れで示されている。 ○ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、書体は大きく太いユニバーサルデザインフォントを使用し、配色も併せて読みやすく、児童が学習しやすいように工夫されている。 ○イラストや写真、資料の大きなレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクターの言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○重要な語句は太字で示したり、語句の解説欄が設けられていたり、関連する学習のページが明示されていたりといった工夫がされている。 </p>	
総 括	<p> ○課題解決的に学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○事例について原因を探求・分析したり、資料を基に思考したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。 ○学習課題を明確にすることで、学びへの意欲を喚起するように工夫している。 ○イラスト・写真・デジタルコンテンツが充実しており、健康・安全についての理解を深める工夫がされている。 ○オリンピック・パラリンピックアスリートの言葉や運動に関する資料、中学校への接続を考えた発展内容などを掲載しており、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できるように工夫されている。 </p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>たのしい保健</h1>	<p>4</p> <p>大日本</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が本文に明示されており、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○各単元の内容を主体的・対話的で深い学びとなるよう、動機付けの「学習ゲーム」→「課題把握」→「課題解決学習」→「活用」→「まとめ」の学習パターンでまとめ、基礎的・基本的な内容を習得できる構成になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「活用して深めよう」の欄で、学習したことを基に、自身の考えを記述したり、資料を作成したりする活動を通して、学習内容の活用・探求をする構成になっている。 ○「話し合ってみよう」では、自身の生活を振り返る問い掛けがなされ、自分の考えを表現する構成になっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○課題が明記されていたり、学習のヒントを活用して、自分の課題や目的に合った正しい情報を探すことができたりするなど、主体的に学習できるように工夫されている。 ○「話し合ってみよう」「やってみよう」では、身近な題材や自分の生活について取り上げ、振り返ったり、考えたりする活動を通して、意欲的に取り組めるように工夫されている。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○脚注の「ミニちしき」や資料「はってん」では、学習内容に関連する新しい知識や補足の説明があったり、インターネットを使って学習ができたりするなど、理解を深めるための工夫がされている。 ○各単元の「まとめコーナー」では、振り返りを行い、今後の生活に生かすために、学んだことを活用し、深めることができるように工夫されている。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭でアスリート等の「夢と健康」についての紹介を行ったり、運動の例を示した資料を掲載したりして、健康について考える工夫がされている。 ○中学校の内容を「はってん」として掲載しており、何年生で学習するかを示すことで中学校への接続が図られている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各単元の導入に、学習内容につながる場면을ゲーム化した「学習ゲーム」が掲示され、児童の学習意欲を喚起する資料となっている。 ○グラフや写真、イラスト、学習の思考を助けるキャラクター等の資料により児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○資料を中心に「熱中症」や「AED」、「防災」等多くの今日的な健康課題が取り上げられている。 ○児童が思考・判断したことを表現する記入欄や、学習をまとめる記入欄、各単元末の「学習のまとめ」の自己評価欄や活用記入欄など評価を行う手掛かりとなる場面が設定されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○各単元導入の「学習ゲーム」を見開き2ページ、各項の学習内容をイラストや写真を中心に見開き2ページにまとめ、「課題把握」→「課題解決学習」→「活用」→「まとめ」の流れで構成されている。 ○ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、書体は大きく太いユニバーサルデザインフォントを使用し、配色も併せて読みやすく、児童が学習しやすいように工夫されている。 ○イラストや写真を中心としたレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクターの言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○重要な語句は「資料」の中で解説をしたり、関連する学習のページが明示されていたりといった工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○学習ゲームで意欲を喚起することで基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○学習したことを基に、自身の考えを記述したり、資料を作成したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。 ○身近な題材や自分の生活について振り返ったり、考えたりする活動を通して、主体的に学習できるように工夫されている。 ○学習内容に関する新しい知識や補足の説明があり、理解を深める工夫がされている。 ○アスリート等の「夢と健康」についての話や運動に関する資料、中学校との接続が示された発展内容が掲載されており、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる内容になるように工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<h1>わたしたちの保健</h1>	<p>207 文教社</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ○学習指導要領に示された学習内容が色付きの枠で示されたり、大切な部分が太字で記述されたりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○各単元の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう「動機付けページ」→「考えてみよう」→「調べてみよう」・「ふり返ってみよう」→「話し合ってみよう」と学習課題に順序性をもたせることにより基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○「新しい自分にレベルアップ」の欄や「わたしの〇〇宣言」で、学習したことを基に、記述したり発表したりする活動を通して、考えを深める構成になっている。 ○「話し合ってみよう」の欄で、自己の生活を振り返る視点が示され、考えを表現できる構成になっている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○脚注の「つぶやきくん」には、児童たちへのメッセージや豆知識があり、学習への意欲を喚起するとともに、感謝の気持ちをもたせるなど道徳心を養うことができるよう工夫されている。 ○「もっとくわしく!」「もっと知りたい!」や情報コーナーでは、児童たちが関心をもって、学びに向かっているような情報が掲載されている。</p> <p>＜健康・安全についての理解を深めるための工夫＞ ○「やってみよう」や「新しい自分にレベルアップ」では、場面設定された状況の中で、どう対処、対応すればいいのかを自分に置き換えて考えさせるなど、健康・安全について理解を深める工夫がされている。 ○各単元の最後には「わたしの〇〇宣言」という振り返りの場を設定し、学習の内容を深めたり、実生活に生かしたりできるように工夫されている。</p> <p>＜生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫＞ ○巻末にアスリートの言葉や詩を掲載し、健康な生活と運動について考えられるように工夫がされている。 ○中学校の内容を「発展」の中の資料として掲載することによって、系統的に指導できる工夫がされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各単元の導入に、課題を見付けてこれからの学習の見通しをもつための動機付けページが掲載され、児童の学習意欲を喚起する資料となっている。 ○グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○「発展」を中心に、「熱中症」や「AED」、「防災」等多くの今日的な健康課題が取り上げられている。 ○各項に児童が思考・判断したことを表現する欄である『新しい自分にレベルアップ』、各単元末には学習したことや理解したことを踏まえて表現する欄である「わたしの〇〇宣言」が掲載されており、友達と伝え合う場面が設定されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○各単元導入の「動機付け」を1ページ、各項の学習内容を大きな紙面にイラストを中心に3ページにまとめ、「考えてみよう」→「調べてみよう」・「ふり返ってみよう」→「話し合ってみよう」の流れで構成されている。 ○書体や文字の大きさ、配色は、ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、読みやすい工夫がなされ、児童が学習しやすいように配慮されている。 ○イラストを中心としたレイアウト、学習の思考を助けるキャラクターや説明が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○重要な語句は太字で示したり、黄色い枠で囲んだりして、目に付きやすく、学習内容を理解しやすいように工夫がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各単元の初めに、動機付けページを配置することで、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○学習したことを基に、記述したり発表したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。 ○児童たちへのメッセージや学びを助けるための説明など、児童たちが関心をもって学びに向かっているような情報が掲載されている。 ○これまでの学習を振り返り、実生活に生かすなど健康安全について理解を深める工夫がされている。 ○アスリートの言葉や詩、中学校への接続を考えた発展的な資料が掲載されており、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる工夫がされている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>小学保健</h1>	<p>208</p> <p>光文</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、大切な部分が太字で記述され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○各単元の内容を主体的・対話的で深い学びとなるよう「振り返り」→「学習課題」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」の5段階の学習過程にすることにより基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生かそう・伝えよう」の欄で、学んだことを書いたり、他の人に伝えたりする活動によって、思考を深める構成になっている。 ○「話し合おう」の欄では、話し合う視点が示しており、生活を振り返ったり、事例を基に思考したりすることによって、考えを表現しやすい構成になっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動画やウェブサイト等の学びを広げ、深めるための資料が掲載されていて、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されている。 ○マークとともに、関連資料を提示し、児童が興味をもって、思考しながら知識を習得できるよう工夫されている。 <p>＜健康・安全についての理解を深めるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「解説」では専門的な用語の解説を行ったり、「この人に聞く」では学習内容に関わりのある仕事をする人の話を掲載したりすることで、健康・安全について理解を深めるための工夫がされている。 ○「学習のまとめ」では、学んだことを生活に生かすことにより、実践的に理解することができるように工夫されている。 <p>＜生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭で、トップアスリートの言葉を掲載したり、運動についての資料やコラムを掲載したりすることにより運動と健康について考えられるように工夫がされている。 ○「さらに広げよう・深めよう」では、中学校の学習として資料を示すことで中学校との接続を図っている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入に、児童が学習内容を身近に感じられるようなストーリー形式のイラストと会話が掲載され、児童の学習意欲を喚起する資料となっている。 ○グラフや写真、イラスト、漫画、キャラクターの吹き出し等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○各項末の資料を中心に、「熱中症」や「ASUKAモデル」、「防災」等多くの今日的な健康課題や、オリンピック・パラリンピックアスリートの言葉が取り上げられている。 ○児童が思考・判断したことを表現する記入欄や、話合いの記入欄、知識を活用する記入欄、各単元末の「学習のまとめ」の自己評価欄など、評価を行う手掛かりとなる場面が設定されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元導入のストーリー形式でまとめられた「とびらのページ」、各項の学習内容を大きな紙面にイラストを中心に見開き2ページにまとめ、「振り返り」→「学習課題」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」の流れで構成されている。 ○書体は標準的な教科書体を使用し、配色はユニバーサルデザイン等の観点に鑑みるなど、読みやすい工夫がなされ、児童が学習しやすいようになっている。 ○イラストを中心としたレイアウト、図やグラフ等の見やすい配色、学習の思考を助けるキャラクターと説明が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされている。 ○重要な語句は太字で示したり、語句の解説欄が設けられていたり、関連する学習のページが明示されていたりといった工夫がされている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の初めに、ストーリー形式のイラストと会話を配置することで、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されている。 ○学んだことを書いたり、他人に伝えたりする活動によって、思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。 ○動画やウェブサイト等、学びを広げ、深めるための資料によって、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されている。 ○学習内容を理解し、実生活と関連付けることで、健康・安全について理解を深める工夫がされている。 ○アスリートの言葉や運動についての資料、中学校に接続することを示した学習資料を掲載することにより、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる内容になっている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>みんなの保健</h1>	<p>2 2 4</p> <p>学 研</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された内容が本文にまとめられており、特に大切な部分が太字で記述される等、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○各単元の内容を主体的・対話的で深い学びとなるよう「課題把握」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」を大きな紙面の見開き2ページにすることにより基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考える・調べる」の欄で、資料を読み取ったり、事例について探求・分析したりする活動を通して、自分の考えを深める構成になっている。 ○「まとめる・深める」の欄で、学習したことを基に、自身の考えを記述し、他の人と伝え合う構成になっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保健の学習の進め方が明記され、1時間を2ページで構成することで、見通しをもって学習に向かうことができるように工夫されている。 ○それぞれの学習において、豊富な事例や写真が掲載されていたり、デジタル教材が活用できるようになっていたりと、主体的に学習ができるように工夫されている。 <p>＜健康・安全についての理解を深めるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もっと知りたい・調べたい」や「実習」のコーナーでは、学習内容と現代的な健康課題を関連付け、自身の生活と結び付けながら、実践的に理解できるように工夫されている。 ○「かがくの目」では、科学的な資料を用いて、学習内容が詳しく説明され、理解が深まるように工夫されている。 <p>＜生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の運動や生活についての写真で健康について考えたり「体育とつなげる」の項目によって、健康と運動について考えたりする工夫がされている。 ○学習内容の発展資料の中に、中学校での学習が示されており、系統的に指導できる工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入に、これから学習する内容について興味関心を引き出すイラスト付きの発問が大きな写真とともに掲載され、児童の学習意欲を喚起する資料となっている。 ○グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等の資料により、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 ○「発展」を中心に、「熱中症」や「AED」、「防災」等多くの今日的な健康課題が取り上げられている。 ○児童が思考・判断したことを表現する学習のまとめ欄、各単元末の「学習を振り返る・学びを深める」の自己評価欄や「明日につなげる」の活用記入欄など、評価を行う手掛かりとなる場面が設定されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元導入の写真でまとめられた「動機付けページ」、各項の学習内容を大きな紙面にイラストを中心に見開き2ページにまとめ、「課題把握」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」の流れで構成されている。 ○書体は標準的な教科書体を使用し、読みやすい工夫がなされ、児童が学習しやすいようになっている。 ○イラストや写真を中心としたレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクターによる説明が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がされている。 ○重要な語句は太字で示したり、語句の解説欄が設けられていたり、関連する学習のページが明示されていたりと工夫がされている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の初めに身近な写真を配置することで、自らの生活を振り返り、実践的に基礎的・基本的な学習内容を理解できるように紙面の構成が工夫されている。 ○資料を読み取ったり、事例について探求・分析したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。 ○保健の学習の進め方が明記され、見通しをもって学習に向かうことができるように工夫されている。 ○学習内容と現代的な健康課題を関連付けるなど、健康・安全についての理解を深める工夫がされている。 ○運動と健康の関わりや体育とのつながりについて考える資料、中学校に接続することを示した学習資料を掲載することにより、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる内容になっている。 	

体育科（保健） 調査資料 2

○分量について

内容	東書	大日本	文教社	光文	学研
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	128	98	88	108	96
2 資料、付録等の総ページ数	28	20	6	10	4
3 表・グラフの数	31	16	27	26	12

○内容別教材数について

内容	東書	大日本	文教社	光文	学研
健康な生活	4	4	4	4	4
体の発育・発達	3	4	4	4	4
心の健康	3	3	4	3	3
けがの防止	5	5	4	5	4
病気の予防	7	8	8	8	8

○その他

内容	東書	大日本	文教社	光文	学研
1 個に応じた学習のための教材数 ※ 「考えよう」「書いてみよう」「まとめよう」「話し合ってみよう」等	109	59	63	109	97
2 実験・実習等を行うための教材数 ※ 「調べてみよう」「やってみよう」等	14	8	13	11	13
3 発展的内容の教材数	13	15	17	26	14